



第1回ブロック会議が各地で開催される!

2023春季生活闘争に向け、北海道ブロック、東日本ブロック、中日本ブロック、西日本ブロックの4ブロック会議が開催されました。今号では全国の各ブロックからの報告を掲載します。印刷労連の2023春季生活闘争は「日本経済の好循環と企業の成長を確実なものにしよう!」をスローガンに、日本経済と企業の成長を確実なものとするための印刷労連の果たすべき役割の考えを継続し、「賃上げ」「一時金」「労働諸条件改善」の3本柱に加えて「労働環境の整備」を求めた「総合労働・生活改善闘争」と位置づけた上で、個人消費を維持・拡大していくことを認識しながら取り組むとしております。

北海道ブロック会議

去る2月13日(月)、残念ながら2構成組織の出席は叶いませんでしたが、3年ぶりに対面にて2022年度北海道ブロック会議を開催いたしました。

当日は本部より穴戸中央執行委員長、古賀副中央書記長にご来道頂き「2023春季生活闘争方針」をご説明頂いたほか、高騰するエネルギー価格による北海道での冬の暮らしが厳しい現状や、アフターコロナでの事業活動、そして停滞している地協組織交流会の開催に向けてなど、引き続き各構成組織の状況や地域の特性に合わせた活動を行っていく事を確認しました。各構成組織の現状や課題を中心に共有し、あらためて対面での活動の重要性を実感する時間となりました。

【報告者 北海道地方協議会 鈴木議長】



出席者 集合写真

東日本ブロック会議

2月4日(土)に東日本ブロック会議を開催し、16構成組織がリアルまたはオンラインにて出席しました。前段では大窄労働条件委員長より「2023春闘要求方針」のポイントを「印刷労連・賃金政策」をベースに説明いただきました。

その後に構成組織ごとに春闘取組内容を報告し、相互に意見交換を行いました。

構成組織ごとに経営状況等は異なりますが、賃上げすることで成果につなげるマクロ的な考えが必要であることも共有しました。多くの組合で賃上げ交渉を展開し、波及効果を生み出していくことを期待します。

【報告者 関東北部甲信越地方協議会 嵯峨議長】



会議風景



出席者 集合写真

中日本ブロック会議

1月28日(土)に第1回中日本ブロック会議を新大阪江坂東急REIホテルにて30名の参加者のもと開催しました。3年ぶりに中日本ブロック4地協が集まったのリアル開催の予定でしたが、前日よりの悪天候にみまわれ石川地協は残念ながらリモートでの参加となりました。

当日は本部より宍戸中央執行委員長、大窄中央書記長にもご参加いただき、大窄中央書記長より「印刷労連2023春季生活闘争方針」について賃金データも交えた分かり易い説明と急激な物価高の中、行われる今春闘が大きなターニングポイントになることをご説明いただきました。

その後はリアル3グループ・リモート3グループに分かれてグループディスカッションを行いました。前半は「2023春闘について」をテーマに労働条件や労働環境における事例の共有や、賃上げについて議論し、後半は「コロナ禍の組合活動について」をテーマに3年間のコロナ禍での組合活動の事例や変化など共有し、今後のアフターコロナへ向けての活動について議論しました。各構成組織の課題や好事例などを共有しあい、約2時間のディスカッションでしたが、まだ時間が足りないと思えるほど、非常に有意義な場になりました。中日本ブロック会議で得た情報を、各構成組織の春闘や今後の活動に活用していただき、さらなる活動の充実のきっかけとしていただきたいと思います。

【報告者 大阪地方協議会 杉山議長】



出席者 集合写真



中日本ブロック代表挨拶
大阪地方協議会 杉山議長



印刷労連本部代表挨拶
宍戸中央執行委員長



会場の様子



閉会挨拶
京滋地方協議会 川端議長

西日本ブロック会議

2023年2月11日(土)TKP熊本カンファレンスセンターにおいて、2022年度第1回西日本ブロック会議(福岡地協&熊本地協)を青年幹事にも出席していただき開催しました。今年もコロナ影響で昨年同様Webでの開催になるかと心配されましたが、宍戸中央執行委員長、大窄中央書記長をお招きし、3年ぶりに対面にて開催することができました。

ブロック会議では、大窄中央書記長より春闘方針の報告、その後各構成組織の春闘要求内容について共有を行いました。幹事メンバーからは、物価、エネルギー価格の高騰に対し色々課題提起され、経済成長へは賃上げが不可欠との心合わせを行い、有意義な会議体となりました。会議終了後には万全なコロナ対策の中、意見交換会も開催しました。まだ、コロナの状況は予断を許さない状況ですが、アフターコロナを見据え、徐々にではありますが、活動の幅を広げ皆で協力しながら活動を進めて参ります。

【報告者 福岡地方協議会 馬場議長】



出席者 集合写真

男女平等参画プロジェクトスタート!

印刷労連では2022年度の運動方針の7つの柱の一つとして、「男女平等参画・ジェンダー平等推進」を掲げて取り組みを進めております。その具体的な取り組みの一つが男女平等推進委員会、女性委員会に向けたプロジェクトの設置です。今回、6組織より各2名を選出いただき、計12名で「男女平等参画プロジェクト」がスタートしました。第1回(2022.12.19開催)は連合「ジェンダー平等推進計画フェーズI」、印刷労連「ジェンダー平等推進計画」の確認およびこれまでの取り組みの振り返りなどを共有し、第2回(2023.01.27開催)は広報活動、またプロジェクトメンバーからの提起について意見交換を実施しました。第3回(2023.03.22開催)では、6月の「男女平等月間」に合わせて開催予定の印刷労連「2022年度ジェンダー平等推進会議」(6年目)に向けて意見交換を実施してまいります。



プロジェクトメンバー集合写真

2023春季生活闘争政策・制度 要求実現3.7中央集会

2023年3月7日(火)、連合では2023春季生活闘争のヤマ場(3月14日～16日)に向けて回答引き出しの決意を固め、さらに「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向けた政策・制度要求実現へのアピールを目的に、「2023春季生活闘争 政策・制度 要求実現3.7中央集会」を開催し、印刷労連から7名が参加しました。

会場に集まったのは4年ぶりとなり、合わせてオンラインでライブ配信され、合計2,472名(会場参加1,181名、オンライン参加1,291名)が結集し、「くらしをまもり、未来をつくる。」を合言葉に、回答引き出しに向け、断固たる決意を新たにしました。



会場の様子

2023春季生活闘争3.8国際女性デー全国統一行動中央集会

2023年3月8日(水)東京・銀座ブロッサム中央会館において、連合と連合東京の共催による「2023春季生活闘争3.8国際女性デー 全国統一行動 中央集会」がオンライン併催で開催され、会場には計366名(内女性192名)が参加、YouTube Liveでの視聴数は704、参加総数1070と多くの参加となり、印刷労連からは会場5名、オンライン11名が参加しました。

冒頭、芳野友子連合会長より主催者挨拶があり、本集会の基調講演として、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院の治部れんげ准教授より、「男女平等と労働～歴史と次世代の視点から」と題して講演がありました。次に井上久美枝総合政策推進局長より、基調提起「2023春季生活闘争方針 ジェンダー平等・多様性推進の取り組み」として、春季生活闘争における男女間賃金格差の是正やジェンダー平等・多様性推進の取り組み、改正育児・介護休業法のポイントの説明を受けました。また、好事例発表として2組織から具体的な取り組み報告があり、最後に集会アピール(案)が採択され、さらに「性的指向・性自認に関する差別を禁止する法律の早期制定を求める緊急アピール(案)」についても提起され、採択されました。

印刷労連もジェンダー平等に向けて、できることを一つずつ、Change, Challenge, Movement! 取り組みを進めてまいります。



リアル&オンライン参加プロジェクトメンバーにて



会場参加のみなさん

第23回UNI-LCJapan年次総会・記念講演

2023年2月17日(金)、第24回UNI-LCJ年次総会が東京にて開催されました。コロナ禍により、昨年および一昨年は、ハイブリッド開催でしたが、今年度は3年ぶりの対面開催となり、各加盟組織より運営委員および総会代議員、オブザーバー等約60人が出席、印刷労連からは本部3名が出席しました。2022年度活動報告、会計報告の承認に続き、2023年度活動計画および予算が承認され、また今年次総会では、2023～2027年度UNI-LCJアクションプランが採択されました。

今年次総会では、4年ぶりにUNI本部からクリスティ・ホフマンUNI書記長、UNI Aproからはラジェンドラ・アチャリヤ地域書記長が来賓として来日されました。記念講演では、ホフマンUNI書記長より今年8月に開催される第6回UNI世界大会に向けた講演が行われ、UNI世界大会の舞台となる米国・フィラデルフィアの歴史や、米国の労働運動が直面する課題、またUNI世界大会の動議案の概要説明がありました。UNIの各部会はそれぞれ加盟組合の強化・育成に取り組んでおり、社会的・経済的意義に対する責任をもって活動していることと、日本の加盟組織が各部会や地域活動に多く関わり貢献していることに感謝の意を表されました。



左：クリスティ・ホフマンUNI書記長、
中：ラジェンドラ・アチャリヤ地域書記長



「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済	団体生命共済
火災共済	自然災害共済
総合医療共済	せいめい共済
マイカー共済	自賠責共済
交通災害共済	新セット移行共済

こくみん共済〈全労済〉
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop
たすけあいの輪をむすぶ

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保険の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
5つの持続可能な開発目標(SDGs)を支えています

誰ひとり取り残さない
金融サービスを、
これからもずっと。

はたらくあなたの、
いちばんそばに。

高梨 雄
紹介サイトはこちら

ROKIN

知って防ごう 解決しよう

あなたの身近に潜む

マネートラブル

特設サイトで動画をチェック！
https://all.rokin.or.jp/money_literacy/

— 編集後記 —

先日、WBCで我らの日本代表が世界一となり、日本中に明るいニュースを届けました。さて、その1ラウンド、チェコとの一戦で佐々木投手が投じた162km/hの剛速球を、もろに膝に受けてしまったチェコ代表エスカラ選手。死球に悶絶し、倒れこも、立ち上がるとダッシュをするなど問題なしをアピール。翌日、佐々木投手はエスカラ選手を尋ね、お菓子の差し入れをした

そうです。エスカラ選手はとても気持ちの良い選手で、それに応えて佐々木投手もお菓子で気持ちを伝えてスポーツマンシップの素晴らしさに、何か気持ちがホッコリしました。

～待ジャパン世界一おめでとう！～

【教育広報委員会 勝又 紀智】